

校長室の窓から 105

070908 教育実習生が参観する互見授業

9月1日(月)から22日(月)まで3週間の日程で1年2組に教育実習の先生が来ていらっしゃいます。本校卒業生の「金山先生」です。

3週間の間に、本校の全ての教員が何らかの形で指導に関わります。

校長・教頭等は「服務や心得について」の指導講話を、教務主任や生徒指導主事等は「校務分掌に関わる内容について」の指導講話を、学級担任は各自1時間ずつ授業を公開して参観授業を提供します。

実習生に見せるこの参観授業は、教員同士が互いに自由に見合うことができます。普段はなかなか見ることのない他学年の先生の授業を参観することは、教育実習生だけでなく私たち教員にとっても、授業力を高めるよい研修の場となっています。

子供たちも、お客さんが大勢いると自然と背筋が伸び、挙手も増えます。
たまには、このような互見授業も刺激になっていいですね。



愛と信の仲よし

中太閤山小学校長 堀かおり